

◎ 第147回定例研究会

2月20日(木)

於：静岡県評会議室

ビデオ鑑賞と討論「わたしは黙らない －派遣労働者・渡辺照子のたたかい－」

●ビデオ「わたしは黙らない

－派遣労働者・渡辺照子のたたかい－



雇止めされる最後の日の出勤（2017年12月）



派遣ユニオンに加入し、関根書記長とともに派遣先に団体交渉を申し入れる



団体交渉に応じない会社に対し、会社の門前で抗議行動のシュプレヒコール

●IWJ 岩上安身による渡辺照子氏インタビュー (2019年8月)



●「格差・差別にあえぐ派遣の女性労働者、 そのエンパワーメントの方法を探る」

渡辺照子(女性労働研究 2016年 No.60より引用)
「派遣労働者自身も、自己責任の内面化をし、問題提起する動機をもてない場合が多い。派遣労働者の係争が少ないのは、労働組合にアクセスできない、係争中の生活資金を用意できないということだけではない。別の派遣先を探すほうが得策だと考える結果だとも推測される。評価を得られる職務ではないため、自己尊重感をもつことも難しい。

だが、ひとたび集会等で自身の現状を告発し、聴衆からの共感や賛同を得られれば、問題提起の主体となり、自身の経験が社会的意義をもつものであるとの認識を得ることも可能だ。「変わるのは自分ではなく社会、会社のほうだ」との気づきを得れば、問題提起の当事者になり、その克服が改革へとつながるとの価値観の転換をみる。

自身の尊厳を派遣先で剥奪された労働者は、その問題の告発によって尊厳を取り戻すのであり、家庭、職場とは別の「居場所」を構築する。」

*連絡先：静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>